

令和元年度 第3回花き技術向上研修を開催しました

「寒ぎく、寒スプレーギクの品種の特性と栽培技術について」

1. 開催日時

令和元年 12月5日（木曜日）10時00分～15時30分

2. 内容

出席者数：花き生産者など 63名

(1) 寒ぎくの栽培展示について（花きセンター職員）及び品種の特徴説明と栽培のポイント（種苗会社当担当者2名）

場所：フラワーLESSルーム及びハイテク切花2号温室

花きセンターからは栽培実証の概要を説明し、これまで開花した品種の開花盛期について説明しました。

種苗会社からは、予備生育を確保するための遮光技術のほか、短稈でも白花の品種は、洋花の祭壇に使われているとの紹介がありました。

また、花の天揃いのよい品種等の説明のほか、草丈確保に向け摘心を2回行う技術についてアドバイスがありました。

出席者からは、凍結とかん水の関係について質問があり、凍結させない温度管理の必要性が確認されました。



(2) きくの栽培講義

講師：イノチオ精興園 和田憲治氏、山手秀芳園 滝沢秀徳氏

場所：フラワーLESSルーム

イノチオ精興園の和田憲治氏からは作柄予測のほか、作型設定や施肥管理が大事であること、山手秀芳園の滝沢秀徳氏からは品種選定においては、カタログのみによらず、実際の植栽を通じてその地域のボリューム感から判断すること、1月挿しで沖縄県産の端境期が狙えるとの提案がありました。

